

黒牢城

著者名： 米澤 穂信
出版社： KADOKAWA

本能寺の変より四年前、天正六年の冬。織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠った荒木村重は、城内で起きる難事件に翻弄される。動揺する人心を落ち着かせるため、村重は、土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか。戦と推理の果てに村重は、官兵衛は何を企む。デビュー20周年の到達点。『満願』『王とサーカス』の著者が挑む戦国×ミステリの新王道。

琥珀の夏

著者名： 辻村 深月
出版社： 文藝春秋

大人になる途中で、私たちが取りこぼし、忘れてしまったものは、どうなるんだろう。封じられた時間のなかに取り残されたあの子は、どこへ行ってしまったんだろう。かつてカルトと批判された〈ミライの学校〉の敷地から発見された子どもの白骨死体。弁護士法子は、遺体が自分の知る少女のものではないかと胸騒ぎをおぼえる。小学生の頃に参加した〈ミライの学校〉の夏合宿。そこには自主性を育てるために親と離れて共同生活を送る子どもたちがいて。。

青嵐の坂

著者名： 葉室 麟
出版社： KADOKAWA

扇野藩は破綻の危機に瀕していた。中老の檜弥八郎が藩政改革に当たるが、改革は失敗。拳げ句、弥八郎は賄賂の疑いで切腹してしまう。残された娘の那美は、偏屈で知られる親戚・矢吹主馬に預けられ…。

もうあかんわ日記

著者名： 岸田 奈美
出版社： ライツ社

父は他界。弟はダウン症。母は車いすユーザーからのコロナ禍に生死をさまよう大手術間におじいちゃんの葬儀が挟まってついに、おばあちゃんに異変が。残された長女（作家）にすべてのタスクは託された次女におそいかかる「もうあかんわ」なラインナップなのにどうして、こんなに面白い文章が出来上がってしまうのか読んでる側はいったいなんで、こんなに救われてしまうのか！？

たまごの旅人

著者名： 近藤 史恵
出版社： 実業之日本社

地球の裏側で遭遇する“日常の謎”未知の世界へ一歩踏み出す勇気がわいてくる物語念願かなって、海外旅行の添乗員になった遥。アイスランドを皮切りに、スロベニア、パリ、西安で、ツアー参加客それぞれの特別な瞬間に寄り添い、ときに悩みながらも旅を続ける。ところが2020年、予想外の事態が訪れて。。

兇人邸の殺人

著者名： 今村 昌弘
出版社： 東京創元社

『魔眼の匣の殺人』から数ヶ月後——。神紅大学ミステリ愛好会の葉村譲と剣崎比留子が突然の依頼で連れて行かれた先は、“生ける廃墟”として人気を博す地方テーマパークだった。園内にそびえる異様な建物「兇人邸」に、比留子たちが追う班目機関の研究結果が隠されているという。深夜、依頼主たちとともに兇人邸に潜入した二人を、“異形存在”による無慈悲な殺戮が待ち受けていた。待望のシリーズ第3弾

二人の嘘

著者名： 一雫 ライオン
出版社： 幻冬舎

「十年に一人の逸材」と言われる女性判事と哀しき偽証で真実を隠し通した元服役囚。恋で終われば、この悲劇は起きなかった。これほどの純愛を、人は醜聞という。「まさか、誰かをかばっている？」男が法廷で隠し通した哀しい真実とは？女性判事・片陵礼子のキャリアには、微塵の汚点もなかった。最高裁判事になることが確実視されてもいた。そんな礼子は、ある男のことが気になって仕方ない。かつて彼女が懲役刑に処した元服役囚。。

透明な螺旋

著者名： 東野 圭吾
出版社： 文藝春秋

ガリレオシリーズ第十弾。房総沖で男性の銃殺遺体が見つかった。失踪した恋人の行方をたどると、関係者として天才物理学者の名が浮上した。警視庁の刑事・草薙は、横須賀の両親のもとで過ごす湯川学を訪ねる。「愛する人を守ることは罪なのか」ガリレオシリーズ最大の秘密が明かされる。

あきない世傳 金と銀（十一） 風待ち篇

著者名： 高田 郁
出版社： 角川春樹事務所

湯上りの身拭いにすぎなかった「湯帷子」を、夕涼みや寛ぎ着としての「浴衣」に。そんな思いから売り出した五鈴屋の藍染め浴衣地は、江戸中の支持を集めた。店主の幸は「一時の流行りで終らせないためにはどうすべきか」を考え続ける。折しも宝暦十年、辰の年。かねてよりの予言通り、江戸の街を災禍が襲う。大海に出るために、風を信じて帆を上げる五鈴屋の主従と仲間たちの奮闘を描く、シリーズ第十一弾！！

著者名：
出版社：